

未来につながるアクション

ババ^{くんと} サトウ^{さん}

12 つくる責任
つかう責任



今月は「つくる責任 つかう責任」について考えてみましょう。自分のお金だからなにをしてもいい？他人事ではなく自分事としてとらえる必要があります。私たちができる小さなアクションについてご紹介します。



キーワードは「エシカル消費」



みなさんは「エシカル」という言葉を聞いたことがありますか？エシカルを調べると「倫理的」「道徳的」という意味が出てきますが、日常では 人や社会、環境に配慮した行動を選ぶことを指して使われます。日本ではそれが「もったいない精神」にも通じるため、身近な場面でエシカルは無駄をなくすやさしい選択と捉えることもできます。自分のお金だから何してもいい！のでしょうか。今ある資源はずっとある？今だけではなく、先のことも考えて優しい選択をしていきましょう。

□ 例えば…

●修理して長く使う

壊れたら捨てずに修理することで、資源消費と廃棄物を減らせます。

●地元の農産物や加工品を選ぶ

輸送によるCO₂排出を抑えられるだけでなく、生産者の顔が見える安心感や地域経済の応援にもつながります。

●認証ラベルが付いた商品を選ぶ

フェアトレードやオーガニックなど生産者の働く環境改善や生態系保全に貢献できます。

●プラスチック削減につながる商品やサービスを選ぶ

マイボトル・量り売りの店・包材の少ない商品などは、ゴミ処理コストや海洋汚染の抑制につながります。

□ `買い物は投票、

「どれを買うか」や「必要な分だけ買う」といった行動は、私たちの意思表示です。消費者の選択は、企業の生産活動や商品のあり方に影響を与えます。より良い社会をつくる力は、私たちが日々おこなっている買い物の中にあります。

